

学力調査の概要

国語

概要

正答率は全国平均をほぼ踏襲する結果となった。無解答率も同様である。一般的な学力状況であるといえる。

特に成果が見られた問題例

「スピーチ」「意見文」など、話す・聞くに関する設問では、正答率が全国平均を上回り、普段の授業で実践している取組みが活かしている。文法や表現技法、語句など国語の根幹的な問いに対しても、平均より正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

文脈に即して漢字を正しく書く問題の正答率が全国平均より低い。難問とはいえない漢字も正しく書けていないのは残念であった。平素から漢字は小テストに力を入れてきたが、一時的な暗記だけで終わり、じゅうぶんには定着していないことがあきらかになった。また、行書の特徴も理解できていなかった。書写の授業が少なかったこともあるが、もっと身近なものとして身に付けさせていく必要がある。

数学

概要

正答率の平均が全国平均を10%以上上回り、高い水準である。分野別でも、ほとんどが大阪府や全国平均を上回っている。また、基本的な内容が多い知識技能、応用の思考・判断・表現のどちらの分野でも府や国の平均を上回っている。無解答率も低く、問題に積極的に取り組むことができている。

特に成果が見られた問題例

①～⑤、⑦(2)、⑧(1)、⑨(1)などの知識技能分野の基本的な問題を全体的に正確に解くことができている。普段からの演習プリントや小テスト、再テストをしっかりと行っている部分が少しずつ身につけてきている。成果の見られた部分をこれからもしっかりと維持していけるようにしたい。

特に課題が見られた問題例

唯一⑥(1)の問題において、全国平均(73.8%)を考えると少し課題が見られた。問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるという趣旨の問題である。事象をよりしっかりと捉えられるように文章問題の演習を増やす必要を感じた。また、全国的にも課題である⑧(2)⑨(2)のような説明が求められる問題にも本校でも課題が見られた。

理科

概要

4領域(エネルギー・粒子・生物・地球)、2観点(知識・技能、思考・判断・表現)すべて全国平均を上回る結果となった。エネルギー領域については全国平均と同様に正答率が下がる傾向にあった。

特に成果が見られた問題例

③(1)の分子モデルを化学反応式で表す問題や④(2)のように共通点と相違点を分析して解釈する問題で成果が見られた。授業の中で時間をとって取り組んだことや基本的な知識・技能がよく定着している。また、無回答率が低く、あきらめず最後まで考える姿勢が身につけている。

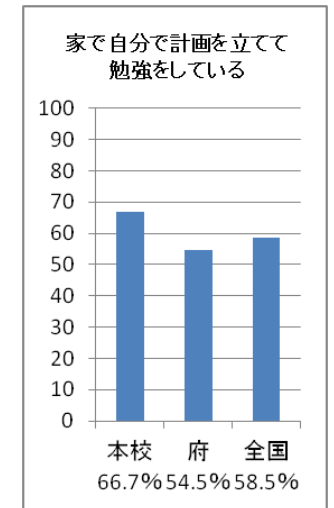
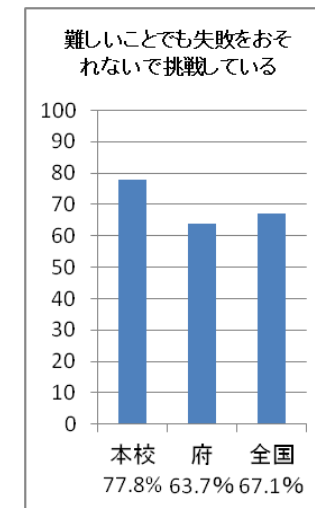
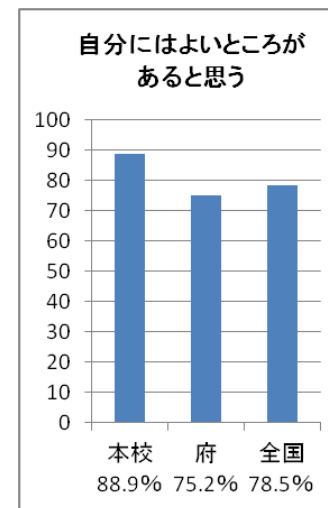
特に課題が見られた問題例

全国平均を上回ってはいるが、③(3)のように、異なる領域の知識・技能を関連付けて分析・解釈することや、⑦(1)のような知識・技能の活用を苦手に行っている傾向がみられた。授業は4つの領域の内容を順番に学習していく形で進めているが、既習事項と関連付けて学習する機会を増やすことで初めて目にする内容であっても総合的に読み取れる力を育成していきたい。

学習状況調査概要

生徒質問用紙から見た 学習・生活状況について

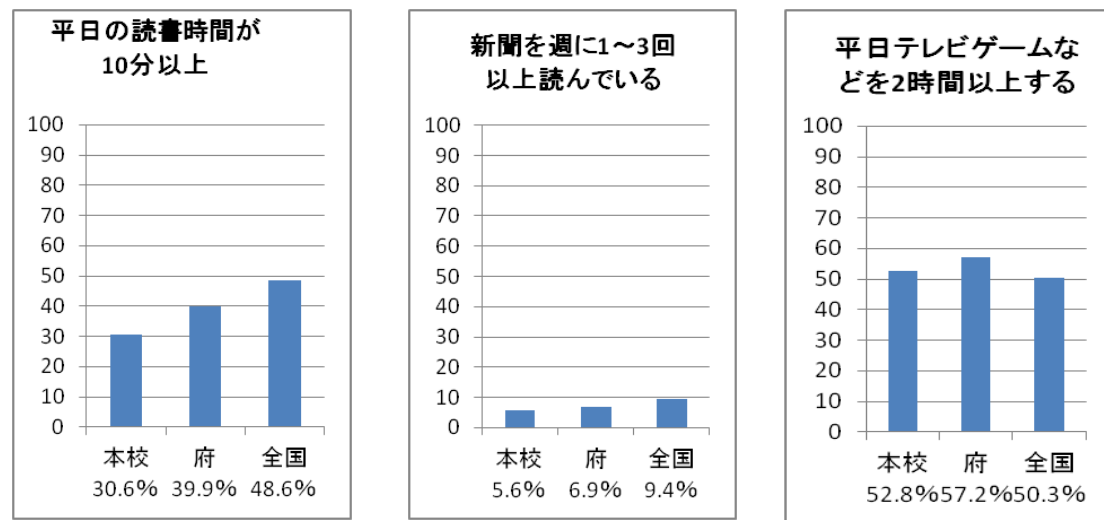
◆成果が見られた項目



グラフの項目以外にも、質問(8)先生はあなたのよいところを認めてくれている。(…94.5%。府85.2%、全国86.6%)、質問(10)自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。(…91.6%。府84.9%、全国86.6%)と回答した生徒も非常に多かったです。長い時間を過ごす学校や家庭で、生徒のよいところを認めることが高い自己肯定感を育み、努力を惜しまない姿勢、挑戦する姿勢につながっています。また、挑戦したこと、やり遂げたことが自信となり、自己肯定感へつながっていると考えられます。

学習面では、自分で計画を立てて勉強をしている生徒が多く、学校の授業以外での学習時間(学習塾、家庭教師、インターネットの活用を含む)が3時間以上と答えた生徒が 平日で33.3%(府13.7%、全国9.9%)、土日で16.7%(府7.4%、全国7.3%)、勉強に時間を割き、学習に集中できる環境を家庭でじゅうぶんに整えてもらっていることがうかがえます。また、質問(42)授業は自分にあった考え方、教材、学習時間になっていたと答えた生徒が91.7%と大変多く(府71.8%、全国75.3%)、生徒の状況に適した授業展開が行えていることがわかりました。

◆課題が見られた項目



読書に関しては、家にある本の冊数は全国平均と比べてやや多いにも関わらず、読書をしない生徒が多く、質問(26)読書が好きと回答した生徒は50.0%(府63.3%、全国68.2%)と少ないです。ゲームや、質問(6)携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴に時間を使い(平日2時間以上…52.8%(府58.8%、全国52.0%)、読書の優先順位が低いようです。クロス集計によると、読書をしている生徒の方が正答率が高い傾向にあります。読書以外にも方法はありますが、いろいろな分野の本を手に取り文章に触れることで、知識を得て語彙を豊かにする機会を意識して作ってみるのもよいでしょう。新聞を読んでいる生徒は全国の傾向と同様に少ないです。中3国語を除き、新聞を読む頻度が高いほど正答率が高い傾向にあるそうです。

世代にかかわらず「スマホ依存」という状況を耳にします。本校3年生では、スマホやコンピュー

タの使い方について約束がある家庭が多く、かつ、家の人と約束したことを守っている生徒が86.2%と多く(府70.5%、全国69.5%)、よいことだと思います。宿題などのやらなくてはならないことと、息抜きや興味のあることにかかる時間を上手にやり繰りしてほしいと思います。

【調査結果を受けて】

◆本校が重点的に取り組んでいくこと

本校の教育目標である 輪(和)=つながる〈つどえ：きたえ・のびよ〉を進めていくため、各教科の授業や総合的な学習の時間の中で、自分の考えをまとめ発表する活動を増やしています。質問用紙の回答からも生徒たちはこのような活動の中で課題の解決に向けて積極的に取り組み、自分の考えがうまく伝わるよう意識して工夫しているようすがうかがえました。発表する場面では生徒たちはICT機器も意欲的に使っています。道徳の授業でも自分の考えを深めたり、話し合ったりする時間を多く作っています。これらが学習内容の定着の高さや、あきらめずにやり遂げる姿勢につながっています。引き続き課題の設定を工夫し、行事や学校生活の中で活躍する場を作って、生徒たちがもっている力を伸ばしていけるよう支援していきます。

◆生徒のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

新型コロナウイルスの影響が続く中、意欲的に学習に取り組み、難しいことにも挑戦する姿勢をもって日々を送っていてとてもたのしく感じます。授業の中で、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる人も多くいました。学校生活のさまざまな場面で、まわりの意見をとり入れて協力しものごとを進めていくのは苦勞が多いですが、卒業後の新しい環境での生活に役立つことでしょう。これからも毎日の生活の中でたくさんの経験をし、考え、自分の力を伸ばしていきましょう。

◆保護者のみなさまに協力してほしいこと

学校が楽しいと答えた生徒が非常に多かったです。ご家庭からの学校へのさまざまなご協力と、生徒が学習や行事に集中できるようサポートしていただいているおかげと感謝しております。府や全国平均と比べて、地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったことがある、また地域の行事に参加しているという生徒の割合が高かったです。保護者のみなさまだけにとどまらず、地域の方々が生徒たちの成長に積極的に関わってくださっていることを生徒たちも感じ取っています。引き続き、生徒たちの成長をあたたく見守っていただきますようお願い致します。